



徳山大学 校友会誌

第10号

昭和63年11月25日

発行所 徳山大学校友会
〒745 山口県徳山市久米
徳山大学学生部内
TEL 0834 (28) 0411 (代)
発行責任者 福原良裕
編集発行人 中村道陽

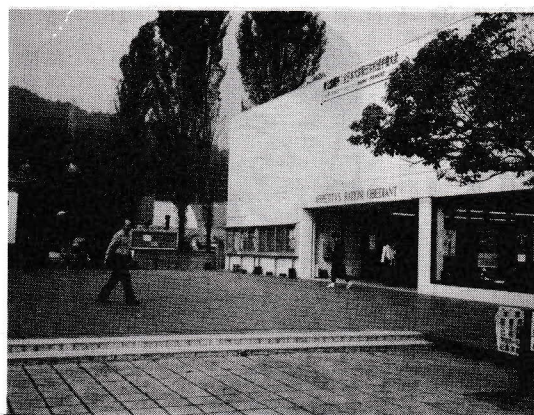
新役員紹介

会長

福原良裕



- ① 一期
リコー精器㈱ 山口営業所
徳山市大字夜市五七八番地
興味のあることすべて
らしくぶらず 日々新たに
- ②
- ③
- ④
- ⑤



⑥ 開学当時のローカル風景

このたび会長を引き受けた福原です。早いもので徳山大学が開学して18年たちました。この間、たまたま地元にいる関係で校友会にかかわり、又一地城人として大学をみてきました。それが今、校友会会長という立場に立ち考えてみると、『伝統』という事が気になります。では『伝統』とは何でしょう。だれが創るのでしょうか。徳大には『ポプラ』の木があります。このポプラの木が『伝統』の象徴ではないでしょうか。我々OBはもちろんの事、学生、教職員、又地域社会のすべての歯車がうまくかみ合って、はじめて年輪は横へ太く、幹は青空へ向ってより高く成長する事ができるのです。

— 学食前 —

昼下りの学食前
赤いレンガ張りの
学食前
学生の座るベンチの
後方には
ほうきポプラ
そして改築された
3号館
その間をアメリカから
来られた英語担当
佐理伴助教が
通られる
新しい良き古き良き
母校は歩む

我々OBは今、根の部分です。色んな土壌があるでしょう。そこへ『根』をはりましょう。そして、その『根』をどんどんふやしましょう。まず、できる事からやりましょう。できるだけ多くの人に声をかけましょう。OBも五千人います。皆でこのポプラの根を大きくしようではありませんか。ポプラは成長が早く、時間はそんなにかららないはずで、ともあれ、今の文を読まれたら、まず身近な人へ連絡してみてください。そして根を広げようではありませんか。それがきつと、自分自身のためにもなるはずで。

自己紹介

項目の見方

- ① 第何期卒
- ② 勤務先
- ③ 現住所
- ④ 趣味
- ⑤ 生活信条
- ⑥ 大学時代いちばん印象に残っていること

副会長

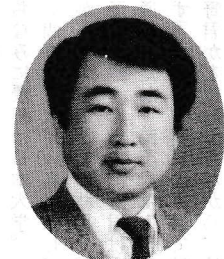
国広憲



- ① 一期
中国アセチレン㈱
徳山市戸田三一一〇
防長名醸ビル
- ②
- ③

副会長

秋本辰己



- ① 三期
徳山大学総務課
下松市旗岡一丁目
四一四一五〇一
- ②
- ③
- ④ つり
- ⑤ 和光同塵
- ⑥ クラブ会活動

昭和50年4月 第一期生として本学を巣立ち、現在中国アセチレン㈱に勤務しております。昭和46年4月開学時に入学した我々の学生生活は、(草創時代)いわゆる自治会編成、学生団体、クラブ団体設立などと共に過ぎ去った学生生活であった。今日の学生諸団体の活躍、拡充された施設を見るにつけ、我々の過ごした時代が嘘の様に、又大変懐かしく感じます。校友会運営についても、卒業と同時に(初代会長)原田重郎氏と共に組織し、以語田中要会長、豊岡正行会長、このたび、福原良裕会長のものと、副会長として補佐することになりました。校友会々員もすでに五千名を突破し、会の運営にも新しい企画が必要な時期でもあります。これまで以上に会員相互の信頼関係を深めるべく、今後頑張りたいと思います。

昭和52年本学に勤務、先輩諸氏の校友会運営に微力ながら参加させて頂き、早12年目を迎えます。本学の諸行事にもことあるごとに校友会々員として共に寄り、前会長の豊岡氏のもと、これまで組織の充実を図ってきました。これまでは、企画部長として主に、会誌発行を担当し、会員相互のパイプの役割を果たして来ましたが、このたび、福原会長新任にあたり、副会長を務めることとなり、会運営の責任をこれまで以上に感じております。



今後、本会の充実を図ると共に、本学の良き伝統を築く為にもOB諸氏のご希望に答えるべく、努力したいと考えます。

企画部長

藤岡正史



- ① 二期
- ② 徳山女子短期大学
- ③ 徳山市大字栗屋九四八—一四
- ④ 音楽 スポーツ
- ⑤ 明日に向けて走れ
- ⑥ 大学二年次の大学祭

私は大学時代音楽活動をしていましたが、その影響を受けたミュージシャンの中の一人に吉田拓郎がいました。その拓郎が最近、「すなおになれば」という新曲を出しました。この唄の中の一節に次のような歌詞があります。

人は誰でも失った何かがある
何気ない毎日にもどってこないかと、扉を開けたまま夢を待ちわびる

人生はそこから出る時に動き出す。

ええことないねと、つい口ぐせのように言ってしまうが、今感じるこのどきどき何かに情熱を注ぎ込みたいと思っている今日この頃です。



情宣部長

中村道陽



- ① 十一期
- ② 学校法人徳山教育財団
- ③ 新南陽市富田宮の前
- ④ 音楽全般 人が楽しむことを企画すること ヨット テニス スキー
- ⑤ The long and winding road.
- ⑥ を 気ままに生きる

冬になると流しの凍りつくような寒い友だちの下宿で、芸術家気取りで、あーだこーだと語り合ったこと。

情宣部、これは情報宣伝部を短縮した呼び方で、今回改選により企画部から独立した新しいセクションです。主として校友会会誌の作成をしています。

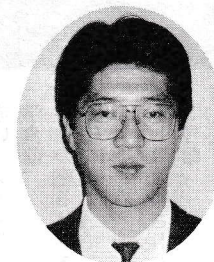
校友会会員約五千名の方にお送りする会誌の編集をおおせつかったのですからやり甲斐があると言えそうですし、少し頭をひねっているところです。

情報宣伝ですから、単に報告乃至主張の場ではなく、会員相互の何らかの情報交換の場になればと思っています。

どうか長い目で会誌の成長を見守ってやって下さい。

組織強化部長

三島隆史



- ① 三期
- ② 徳山大学学生主事室
- ③ 徳山市久米ひばりヶ丘 一六二—三〇
- ④ ドライブ
- ⑤ 「自分に正直に」
- ⑥ クラブ活動(バスケットボール部)

会計課(現経理課)より、学生主事室に変わって早いもので二年になります。会計課では、机に向い本当に事務一辺倒でしたが、主事室ではうってかわって、机に座っていることが少なく、学生と接することに奔走しています。

地方のしかも小規模大学が、これから台頭していくためには、やはり地域の人がそして若者が魅力に感じる大学の個性が必要不可欠と思われまふ。

私は、学生との膝を交えたふれあいの中でその何かを見い出そうと、今日もひとりひとりに、接しています。



事業部長

井上基義



- ① 二期
- ② 井上保険サービス
- ③ 徳山市河東町六一一六
- ④ 音楽鑑賞
- ⑤ 「和して流せず」
- ⑥ 大学祭に友人二人とうどん店を出店し売れ残って苦労したこと。

校友会で寮運営、十号館喫茶運営をはじめ、早いもので七年を迎えました。どちらの事業も我々が入学した当時から卒業するまで授業のない時間を有意義にかつ無意味にすごせる場所がなかったために、卒業生の力で、学生達への憩いの場の提供と、福利厚生面の充実を目指して微力ながらお手伝いできれば、との思いで営業を開始しました。

しかし、七年間を顧みますと、大学当局と校友会との意思疎通がなかったために、表面上の体裁は繕えたものの、当初の目的とは少しかけはなれた形になったのではないかと反省することしきりです。

監査

岡 浩治

- ① 八期
- ② 大正海上火災
- ③ 徳山市黒岩町二八七—一五五

監査

柴村 太

- ① 九期
- ② 徳山女子短期大学
- ③ 徳山市周陽一丁目一—二一十
- ④ 音楽鑑賞 スポーツ
- ⑤ ものまね
- ⑥ 清く正しく美しく

事務局長

近森 卓司

我がゴルフ部が、茨城県の茨城ゴルフクラブで11月8・10日の間に開催された、全日本大学対抗ゴルフ選手権(個人戦・四年連続出場)に、中・四国地区代表で出場した。団体戦の目標はベスト10入り。個人戦は、予選通過を第一目標とした。8日に団体戦が行なわれ、16チーム出場。1.5ラウンド、各校代表5名ずつ出場し上位4名のトータルスコアで争われた。その結果、本学は成城大学と並び10位タイ、本学の平均スコアはラウンドで78.5。この数字は、実力とおりのものであり、満足であった。ちなみに優勝は日本大学。

個人戦では、130名出場し、本学から2名参加。その結果、50名が予選通過。本学の河野君は上位で通過したが、岡茂君は1打差及ばず予選落ち。翌日の本選では、河野君が上位におりながら、途中、腰痛のため棄権した。残念であったが、12月1・2日に全日本学生ゴルフ王座決定戦にこの2名が出場するので、それに頑張ってもらいたい。



- ① 一期
 - ② 徳山大学学生生活課
 - ③ 下松市栄町一—九
 - ④ ゴルフ つり
 - ⑤ 誠実
 - ⑥ 今村ゼミ
- 滝沢先生の講義(プラトンの国家論)

校友会は大学そのもの

校友会前会長 豊岡正行(二期生)

「校友会は大学そのもの」という発想はできないものか。最近、あと二年半で開学二十周年を迎える母校に対して、そんな思いがしやらない。とかく大学というものは、教授陣や学生のみが目に向けられ評価されがちである。が、OBの活躍や存在が大学を動かすことも大いにある。

今春、佐原教授にこんな話をしたことがある。「OBや教授陣で地域活性化をテーマに、勉強会や情報交換会を作ったらどうだろうか」と。すると「問題は人が集まるかどうかだな」と答えられた。

校友会に思う

学生部長 佐原昌弘

校友会とのお付き合いも相当長いものになってしまった。思えばいろいろな事があった。その都度その都度大問題と感じ、必死で思いでその解決に当たってきたのであるが、それは自然の流れのなかでの小さな努力でしかなかったように思う。即ちいくら校友会の世話役があくせく動き回ったところで、その多くは徒勞に終るだけであり校友会の進歩・発展は校友会そのものの成熟いかんにかかっていると思う。具体的には会員ひとりひとりの社会的活動を通じて人間力の成長と蓄積が校友会活動の将来を物語っているように思えてならない。

一期生の諸君が、社会的には中堅階層を占めるようになった今、校友会活動も一大転換期にさしかかったことに間違いはない。だが自らの力を過信することなく、無理することなく、出来る範囲での校友会活動でなければならぬと思う。だからいたずらに背のびしたり、校友会活動を私利のための場としてはならないことは勿論である。

青年から中年にさしかかった私は、最近富に老練心が過ぎるようになった。これからは校友会を外から眺め、校友会のあるべき姿を模索しつつ、苦言を呈していきたいと思う。

会員からのメッセーシ

友だちの輪

Part 1

各地で活躍されている、会員諸氏の近況をアンケートしてみました。この機会を折にして、しばらく連絡の途絶えていた友人、まだは、連絡のまっただ中だった友人と旧交を暖めていただくことになればと思っています。とりあえずわずかな方ですが、今後できる限り多くの会員の方からアンケートをとりたいと思っています。ご協力お願い致します。

アンケートの見方

- ① 名前
- ② 何期卒
- ③ 現住所
- ④ 勤務先
- ⑤ 趣味
- ⑥ 大学時代いちばん印象に残っていること
- ⑦ 友人へのメッセーシ

- ① 福永修
- ② 14期
- ③ 神奈川県横浜市
- ④ 株式会社
- ⑤ 読書
- ⑥ 松陰会(信和会)で活動したこと
- ⑦ 6組全員に東京のどまん中で徳大卒業を誇りとして頑張っています。上京したら連絡一報即見参!!

- ① 岩永貴子
- ② (旧姓 村川)
- ③ 13期
- ④ 山口県徳山市
- ⑤ 村川商会
- ⑥ 音楽 クラリネット演奏クラブで全国大会へ行ったこと、定期演奏会
- ⑦ 元気で頑張っています。徳山へ来た際は家へ遊びに来て下さい。

- ① 原田浩樹
- ② 12期
- ③ 山口県徳山市
- ④ 西日本ツーリスト(株)
- ⑤ バンド活動
- ⑥ パーティー イベント企画
- ⑦ 体育の授業で吉岡先生に投げとばしていただいたこと

- ① 近藤賢治
- ② 11期
- ③ 山口県下松市
- ④ 東邦生命保険相互会社
- ⑤ 徳山法人営業所
- ⑥ テニス
- ⑦ 卒業旅行でグアムへ行ったこととクラブ活動

- ① 牧佳子
- ② (旧姓 井上)
- ③ 1期
- ④ 山口県吉敷郡小郡町
- ⑤ 山口市立興進小学校
- ⑥ 手芸 スキー
- ⑦ バス停から大学までとても遠かったこと(現在の自動車学校あたりにはバス停があったはず)

- ① 笠井保佳
- ② 7期
- ③ 福岡県久留米市
- ④ 大東京火災海上
- ⑤ ゴルフ 夜町ブラ
- ⑥ クラブ活動全般
- ⑦ 私もいかにげんに落ち着いたら、みんなそろそろ年貢を納めようたいばってん。

- ① 狭間万弘
- ② 9期
- ③ 富山県金沢市
- ④ 伊東園 金沢営業所
- ⑤ ツーリング スキューバダイビング(ライセンス取得)
- ⑥ お酒にはじまりお酒に終わった。徳山でみんなまた会おう!!

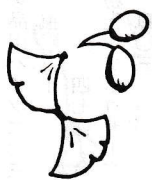
- ① 榎本秀人
- ② 8期
- ③ 神奈川県相模原市
- ④ 宇部ボード(株)東京営業所
- ⑤ ゴルフ テニス
- ⑥ クラブ活動全般
- ⑦ ついに私も今年10月結婚して今、幸せいっぱいです。島根の可部君最近どうですか遊びに来て下さい。

- ① 宮田順子
- ② (旧姓 阿久津)
- ③ 1期
- ④ 山口県宇部市
- ⑤ 山口大学付属図書館
- ⑥ 工学部分館
- ⑦ 読書 パレーボール

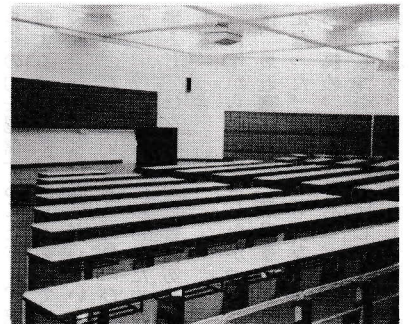
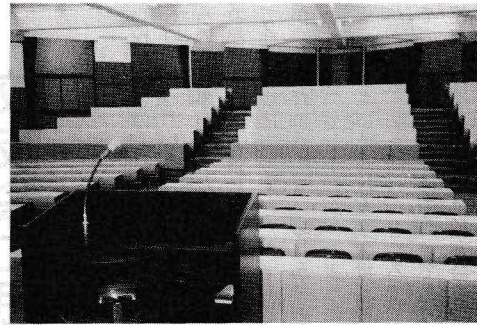
- ① 通山賢一
- ② 10期
- ③ 山口県下松市
- ④ 周陽福祉作業所
- ⑤ ウィンドサーフィン スキー
- ⑥ クラブ活動(ヨット部)
- ⑦ 脇坂、太郎元氣!?うちの娘はかわいいで。石田君もはよう結婚しないさい。エノさんまた遊びに行きます。

- ① 一期生は人数も少なくみんな顔見知りのはずだったのに同窓会を開いていませんね。どなたか発起人をお願いします。

- ① 皆さん、ご協力 ほんとうに ありがとうございます。



3号館 改築される



本年度の夏休み期間に、三号館が大改築された。

この三号館は、昭和四十六年の創立以来の建物で、かつて入学式や卒業式も行われた大教室である。この度、老朽化著しいため、内部が全面改築された。

まず、写真ではわかりにくい

かもしれないが、階段状だった座席の配列が、変えられた。それに伴い、椅子も全部取り換えられた。次に内装であるが、床にうすいジュエタンを張り、壁もぬりかえられて、防音吸音効果のある、装飾がされている。

さらに、今回の改築の目玉とも言える二点について、ひとつは、百二十インチのビデオプロジェクターを設置したことである。このような大型のビデオは、県内でもそう多く設置されていない。もう一点は、冷暖房完備したことである。

以上のように改築されたのであるが、授業はもとより、講演会会場としても利用でき、このアカデミックな雰囲気のある教室を、会員のみなさんに是非一度見ていただきたい。

支部連絡先

- 山口県徳山市夜市五七八
TEL 〇八三四一
六三一四三一五
勤務先 リコー精器
TEL 〇八三四一
三一―一一一九
- 〔山口県東部支部〕
支部長 古谷 幸男 (七期)
〒七四五―〇五
山口県徳山市中須南一一二四
TEL 〇八三四一
八九―〇三〇三
勤務先 自営
徳山市会議員
- 〔関東支部〕
支部長代行 中村 厚彦 (二期)
〒一〇四
東京都品川区東品川三丁目
一六―B
- 東品川ハイツ二〇三号
TEL 〇三一
四七四―八三四七
勤務先 アポロサービス㈱
TEL 〇三一
四七〇―八八七三
- 〔広島支部〕
支部長 長谷川 洋 (二期)
〒七三〇
広島県広島市西区上天満町
二一六―五〇四
TEL 〇八二一
二九四―五二一七
勤務先 ㈱ユニカ
TEL 〇八二一
二七七―六六六六

課外活動状況

本年も課外活動を通して、多くの優秀な成績がおさめられた。下記表はいわば、昭和63年度前期分の一覧である。

今年はソウルオリンピックにもえた年であったが、本学からも、オリンピック選手が、出ることを勝手ながら祈るのである。

しかし課外活動の本質はやはり名誉や数値的なものばかりではないだろう。課外活動を通して目的意識をもった学生のまなざしは美しい。そして年相応の輝きをもっている。陽のあたらないところで地道に頑張っている学生もいると思う。校友会はそんな人にこそ心からの拍手をおくりたい。

課外活動成績優秀者一件綴

部 名、試合名及び期間	種 目	氏 名	学 年
レスリング部 西日本春季レスリング新人戦 4/28-29 (大阪)	フリースタイル57kg級 優勝 62kg級 優勝 130kg級 優勝	宮下 武士 2年 嶋 也次 2年 末 雄次 2年	2年
西日本学生レスリング選手権大会 5/26-29 (大阪)	グレコローマンスタイル90kgup級 優勝 フリースタイル 優勝	横谷 豊 3年 山根 宣夫 2年 末 雄次 2年	2年
エスポールワールドカップ選考会 6/2-5	フリースタイル48kg級 第2位 130kg級up 第2位	宮田 和哉 2年 村田 幸治 2年 局田 幸治 2年	2年
陸上競技部 第42回中国学生陸上競技対校選手権大会 5/14-15	1,500m 優勝 3,000m 優勝 走幅跳 優勝 ハンマー投げ 優勝	局田 幸治 2年 坂口 哲也 3年 局田 幸治 2年 坂口 哲也 3年	2年
第11回中国学生陸上競技選手権 10/8-9	走幅跳 優勝 ハンマー投げ 優勝 やり投げ 優勝	局田 幸治 2年 坂口 哲也 3年 上村 章人 1年	1年
第20回全日本大学駅伝 10/8-9 (広島)	9年連続出場 優勝	徳山大学 陸上競技部	
剣道部 第35回中国学生剣道選手権大会 5/14-15 (松山)	個人の部 優勝	福田 豊 4年	4年
少林寺拳法部 第23回中国学生少林寺剣法大会 5/28-29 (松山)	女子規定組演武 最優秀	佐々田早苗 2年	2年
ゴルフ部 中国四国学生ゴルフ春季1部校リーグ戦 6/7-10 (広島)	団体の部 優勝 最優秀選手賞	徳山大学 ゴルフ部 西倉 修二 2年	2年
中国四国学生ゴルフ選手権 8/3	優勝	岡茂 洋雄 2年	2年
サッカー部 総理大臣杯全日本大学サッカー中国地域予選 6/3-6 (鳥取)	優勝	徳山大学 サッカー部	
ボクシング部 中国大ボクシング選手権 7/1-3 (徳山)	団体の部 優勝 フライ級 優勝 ライトウェルター級 優勝 バンタム級 優勝 最優秀選手賞	徳山大学 ボクシング部 森田 悦弘 4年 堀本 昌之 4年 大庭 裕史 3年 森田 悦弘 4年	4年
硬式野球部 中国六大学野球春季リーグ戦 4/9-5/15	敢闘賞 首位打者・ベストナイン	東 秀敬 2年 福永 聖治 3年	2年
ハンドボール部 中国四国学生ハンドボール秋季リーグ戦 8/29-31 (岡山)	ベストセブン	春田 英司 3年	3年
硬式庭球部 中国学生庭球選手権大会 S. 62.7	シングル 優勝	谷本 鉄也 4年	4年
ゴルフ部 中国四国学生王座決定戦 10/25-28 (徳山)	優勝	河野 裕之 3年	3年
中国四国学生ゴルフ秋季一部校対抗戦 10/13-14 (広島)	優勝	徳山大学 ゴルフ部	
柔道部 京都国民体育大会 10/14-19 (京都)	第3位	渡辺 康則 1年	1年
全日本学生体重別選手権大会 10/6-10 (東京)	60kg級 第5位	来島 睦人 1年	1年
全国学生交通児童育英募金表彰 山口県青少年育成県民会議、青少年・青少年団体及び青少年指導者の表彰		広岡圭一郎 4年 益田 将吏 4年	4年

編集後記

まずは何はともあれ、会誌発行が大幅に遅れてしまったことを、お詫び申し上げます。

さて、全国各地に私の編集したこの会誌が出回るわけですから、これはまことにありがたいことです。

人はいろいろな経験をしながら生きていますが、自分が少しでも筆を執った文章が全国津々浦々で読まれるということは稀有な経験といえるのではないのでしょうか。

三嶋組織強化部長のあいさつの中にも、大学の個性ということが言われていますが、そのためにはまず、足元から、この校友会情報宣伝部で何が出来るだろうということに思いを巡らせるのです。

さて、開学以来十八年余り、徳山という地方都市において、二千

五百名の十八歳から二十二歳までの若者が毎年入れ替り生活していることを考えた時、徳山大学の存在はすでに、徳山市にとってなくてはならないものになったといえるのではないかと思います。

たとえば、徳山市に与えている経済的効果の面から思いつくままに考えてみても、この人口わずか十万人の都市に、五つの映画館、二十軒のレンタルビデオ店、二十四時間営業のコンビニエンスストア

レストラン・弁当屋・ファーストフード店、が存在できることは少なからず徳山大学の存在と因果関係がないとは言えないでしょう。視点を少し変えてみるといろいろなことが見えてくる気がします。